

2026年5月号 おおきくなあれ



No. 314

岐阜市芥見大般若1丁目84番地 河村病院 病児保育園クララ

HPアドレス <http://www.kawamura-medical.or.jp>

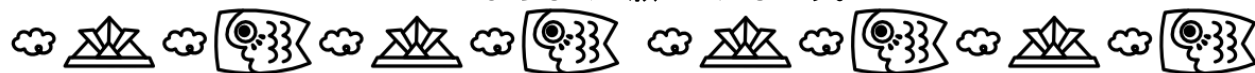
4月は花びらをまとっていた桜も、今は緑一色となり、木漏れ日が眩しい季節となりました。園生活では、新しいスタートから1ヶ月が過ぎ、ちょっぴり不安だった気持ちも落ち着き、『ドキドキ』から『ワクワク』へと変化してきている頃ではないでしょうか？

新しい生活に慣れてきた反面、体調を崩しやすくなる頃かもしれません。この時期は急に日中暑くなることもあり、体が暑さに慣れていないため体調管理には気を付けましょう。子どもたちは汗をたくさんかくのでお出かけの時などにも水分補給を忘れないようにしましょう。

5月は筍、アスパラガス、新じゃが、メロン、さくらんぼなど美味しい食べ物がいっぱい。たくさん食べて、みんな元気におおきくなあれ!!

★お知らせ★

5月9日(土)は、小児科が休診に伴い、病児保育園クララも休園となります。よろしくお願いたします。



＜泣くことは持って生まれた素晴らしい表現方法＞

子どもが泣いたらつい泣き止ませようと考えてしまいがちですが、いくら言い聞かせても泣き止みませんよね。子どもに「泣かない〜！」という人もいますが、泣くのは私たちが持って生まれた素晴らしい表現方法で、特にあかちゃんのころはそれが生きるための命綱。子どもにとっては自分の気持ちに直結している表現が「泣く」なのだと思います。

泣けちゃうときは思いっきり泣いていい。今、その子はあふれた気持ちを表現したいのだと捉えて、困らなくてもいいということです。

まだ5月は新生活の環境に不慣れな時期、まずは胸と胸を合わせてゆったり抱いて…、気持ちに共感するのが一番ですね。その子の色々な心情を想像して、言葉にしてあげることで「わかってくれた」と安心できるのですから。

泣くのと溜まっていた気持ちを吐き出したり、人の注意を引いたりする手段でもあります。子どもはこれを使うのがほんとうに上手。ほとんどの場合、(病気のときは当てはまりませんが)泣いた後はスッと気持ちが落ち着くこともあります。

※柴田愛子さんの「保育のホンネ」から抜粋



👉👈 手足口病について 👉👈

★手足口病とは

乳幼児に多く発生するウイルス性感染症の一つで、子どもがかかりやすい「夏風邪」の代表格です。例年夏頃に流行のピークを迎えます。発熱、喉の痛みのほか、手のひら、足の裏、口腔内にできる発疹が主な症状で、口腔内の発疹が破れ口内炎になることで痛みを伴うこともあります。感染力は比較的強く、稀に大人も感染することがあります。感染すると子どもより重い症状が出やすいため、感染した子どもと接するのは注意が必要です。

★治療、過ごし方

合併症がない場合、発熱は1~2日、発疹は1週間程度で快方に向かっていきます。手足口病には効果のある抗ウイルス剤はないため、症状を和らげる対症療法が治療の中心となります。脱水を防ぐためのこまめな水分補給のほか、発疹に痛みやかゆみがある場合は抗ヒスタミン薬の塗り薬の使用、口内炎の痛みがひどい際は鎮痛薬や粘膜保護剤の使用などで様子を見ます。また、口内炎による痛みで水分や食事が摂りづらくなることもあるので、刺激物を避け冷たいスープなど飲みやすいものを少しずつ口にするとういでしょう。

★予防

手足口病には予防のためのワクチンがないため、こまめなうがいや手洗いが感染予防の基本となります。便からも感染するので、排泄後の手洗い・手指消毒を行い、大人も感染しないようにオムツ交換や汚物の処理の際は適切な処理を行うよう心がけましょう。また、タオル、食器、おもちゃなどの共有は避け、感染している子どもが使用したおもちゃなどは念入りに洗浄と消毒を行いましょう。



📍薬のはなし(子どもの薬の飲ませ方)📍

赤ちゃんは睡眠時間が決まっていなかったり、お腹がいっぱいになると薬を飲まなくなったりするため飲ませるのも一苦勞ですね。1日3回なら朝・昼・夕と大体5~6時間空いてれば寝ているのを無理に起こさなくても問題ないとされています。

1歳頃までは、シロップを小さなスプーンやスポイトなどで少しずつ飲ませるとよいでしょう。ただ、薬を粉ミルクに混ぜないで下さい。ミルクの味が変わり、ミルク嫌いになってしまうことがあります。

粉薬の場合は水を1滴ずつ加えてこね、団子やペースト状にして頬や顎の内側に塗る方法もあります。薬を飲むのを嫌がって激しく泣いているのに無理に飲ませると、薬が気管に入ってしまう危険性があるため注意しましょう。錠剤やカプセルの場合は飲めるようになるのが個人差もありますが早くて5歳頃からです。

お薬を吐いてしまった場合は目安として10分以内であれば再び飲ませても問題ないとされています。それ以上経過していれば、体内に入った薬が既に腸で吸収されている可能性がある為、再度飲ませないでくださいね。

🌸薬が飲めた時は忘れずに褒めてあげてくださいね🌸

